

【学校教育目標：志を立てて未来を拓く西中生の育成】

| | 評価項目 | R5 | | R6 | | 考 察 (○は成果、●は課題) | |
|------|------------------------------|---------------------------------------------------------|-----|-----|-----|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | 1学期 | 3学期 | 1学期 | 3学期 | | |
| 学習指導 | 1 | チャイム席を守るよう指導できましたか。 | 3.6 | 3.5 | 3.6 | 3.7 | ○3分前着席が定着し、学習規律が整った中で落ち着いて授業を受けることができます。これが学力向上の取組において一番重要なことだと考えます。 ○生徒が主体的に活動する場や、生徒同士が相互の関わり合いを深める場を設定する値が徐々に増えています。学力向上プランに基づいた教科指導を実施することで生徒が主体的に活動するよう取り組まれている様子が窺えます。 ○タブレット等視聴覚機器の活用も増えています。タブレットでの徹底反復学習やAIドリルキュビナも各教科で定着しています。学力向上Coが研修を行うなど、教員間で情報共有を行い研鑽している様子が見られます。 ●昨年度より、小中一貫の取組で家庭学習自学ノート「けてぶれ学習」を行っています。小学校から取り組むことで1年生の自学ノートの質の向上が見られました。この成果がこれからあらわれてくることが期待されます。来年度も継続して行います。 |
| | 2 | 学習規律が整った中で、授業を行うことができましたか。 | 3.4 | 3.5 | 3.5 | 3.6 | |
| | 3 | 学力向上プランに基づいた教科指導が、実施できましたか。 | 3.0 | 2.8 | 3.0 | 3.3 | |
| | 4 | 主眼（ねらい）とまとめを設定した授業が行えましたか。 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 3.1 | |
| | 5 | 基礎・基本を定着させるため、徹底反復学習を行いましたか。 | 3.3 | 3.4 | 3.3 | 3.2 | |
| | 6 | 思考力・判断力・表現力を育む言語活動を行いましたか。 | 2.7 | 2.9 | 2.9 | 3.0 | |
| | 7 | 授業で、生徒が主体的に活動する場や、生徒同士が相互の関わり合いを深める場を設定できましたか。 | 2.8 | 3.0 | 3.1 | 3.3 | |
| | 8 | 「けてぶれ学習」による家庭学習の質的向上に取り組めましたか。 | 2.9 | 2.9 | 2.8 | 2.9 | |
| | 9 | 授業で、タブレット等、情報・視聴覚機器を活用できましたか。 | 2.9 | 3.2 | 3.3 | 3.4 | |
| 生徒指導 | 10 | 自分から進んで挨拶ができるように指導できましたか。 | 3.2 | 3.3 | 3.3 | 3.5 | ○すべての項目において高い数値となっています。職員が共通理解のもと積極的生徒指導に取り組むことが、今の生徒の姿につながっていると思われます。 ○あいさつ、言葉遣い、生活の決まりを守ることなど、教員、家庭、生徒一体となって取り組むことで成果が上がっています。このことは生徒、保護者のアンケートの結果にも表れており、90%以上がそう思う、大体そう思うと答えています。 ○仲間づくりを意識した学級・学年経営が行われていることも積極的生徒指導につながっています。生徒を1人の人格者として認めて褒めて育てるという校長の方針のもと、教員も生徒理解に努めており、そのことは生徒との信頼関係にもつながっています。 ●不登校生徒が増えていることは課題です。校内教育支援室の利用や関係機関と連携することで安心して学べる環境づくりをしていく必要があります。 |
| | 11 | 場面に応じた適切な言葉使いを指導できましたか。 | 3.4 | 3.4 | 3.3 | 3.5 | |
| | 12 | 服装や髪などのきまりを守れるように指導できましたか。 | 3.4 | 3.3 | 3.4 | 3.6 | |
| | 13 | 整理整頓や掃除を丁寧に行う指導ができましたか。 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | |
| | 14 | 職員は、生徒指導に関する情報を共有できていましたか。 | 3.3 | 3.4 | 3.4 | 3.6 | |
| | 15 | 仲間づくりを意識した学級・学年づくりができていましたか。 | 3.3 | 3.4 | 3.3 | 3.5 | |
| | 16 | 生徒理解に基づいた積極的生徒指導に取り組めましたか。 | 3.1 | 3.3 | 3.3 | 3.5 | |
| 17 | いじめ防止の取組や早期発見・早期対応はできていましたか。 | 3.1 | 3.3 | 3.3 | 3.3 | | |
| 豊かな心 | 18 | 学校行事や学校生活の中で、生徒が主体的に活動する場や、生徒同士が相互の関わり合いを深める場を設定できましたか。 | 3.2 | 3.3 | 3.5 | 3.6 | ○学校行事や学校生活の中で、生徒が自主的に活動する場の設定、自尊感情・自己有用感を高める取組ができています。 ○道徳教育では、96%の生徒が授業でより良い生き方を考えていると答えており、豊かな心を高めるために日頃から取り組んでいる様子がわかります。 ○キャリア教育は2、3学期の総合的な学習の時間を中心に取り組むため、数値が上がります。学校目標「夢と志の育成」の具現化に向けて系統立てて学習を進め、集大成として3年生で立志式を行うことで、生徒が将来への目的意識をもてるようになっていくと考えられます。 ●今年度もラインなどのSNSの指導を行いました。生徒の様子や言動に注意を払い、学校の教育活動全体を通して取り組んでいきます。家庭でのスマホ等の使用時間も長くなっており、家庭との連携も課題です。 |
| | 19 | 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める授業を行うことができましたか。 | 3.2 | 3.2 | 3.2 | 3.4 | |
| | 20 | 生徒が将来への目的意識をもって学校生活を送れるように、キャリア教育ができましたか。 | 2.8 | 3.3 | 2.9 | 3.3 | |
| | 21 | 生徒の自尊感情や自己有用感を高める取組ができましたか。 | 2.9 | 3.1 | 3.1 | 3.4 | |
| | 22 | 教師自身が人権感覚を磨き、生徒に対する言動や対応に十分注意がなされていきましたか。 | 3.1 | 3.3 | 3.3 | 3.4 | |
| | 23 | 生徒同士が、互いに高め合う取組ができていましたか。 | 3.0 | 3.0 | 3.2 | 3.4 | |
| | 24 | 他者への思いやりの心を育てることができましたか。 | 3.0 | 3.2 | 3.3 | 3.2 | |
| その他 | 25 | 各分掌係は、見直しをもって計画的に仕事ができましたか。 | 2.8 | 2.9 | 3.0 | 3.0 | ○今年度は、全職員が研究授業で協調学習やタブレットを使った授業を行いました。来年度も、校内研修等を積極的にを行い、全職員で授業力向上に取り組めます。 ○自動採点ソフトの導入、会議の精選、時間短縮など、働き方改革に取り組んでいます。水曜日の定時退校日も定着したことは大きな成果だと考えます。 ○家庭との連携において、すぐメールやHP、学年通信で情報提供をおこない、授業参観やPTA親子活動を行うことで保護者に生徒の様子を直接見ていただくことができました。 ●校務分掌については少しずつ値が上がっているものの、改善の余地があると考えられます。教員自身が主体的に見直しをもって起案・提案・実行できるよう取り組むことが課題です。 ●小中一貫の取組も少しずつ進んでいます。夏休みに全体会を行い、小中共通で取り組んでいる内容を確認しました。9年間を見通した取組を進めていきます。 |
| | 26 | 各分掌係間の連携は、円滑に行われていましたか。 | 2.7 | 2.8 | 3.0 | 3.0 | |
| | 27 | 職員朝礼や職員会議は、効率的に行われていましたか。 | 3.2 | 3.2 | 3.3 | 3.3 | |
| | 28 | 校内研修や自主研修等で、指導力は向上しましたか。 | 3.2 | 3.1 | 3.2 | 3.3 | |
| | 29 | 学校は、家庭への情報提供を十分に行い、連携がとれましたか。 | 3.3 | 3.2 | 3.1 | 3.3 | |
| | 30 | 本校区における小中一貫教育の取組を意識して取り組んでいますか。 | 2.5 | 2.6 | 2.7 | 2.9 | |
| | 31 | ご自身は、残業を減らすために意識改革・業務改善に積極的に取り組んでいると思いますか。 | 2.2 | 2.9 | 2.9 | 3.0 | |
| 32 | 本校は働き方改革に積極的に取り組んでいると思いますか。 | 2.7 | 2.6 | 2.9 | 2.9 | | |

学校関係者評価書

※ 学校運営協議会の皆さんにお集まりいただき、学校評価委員会を行いました。実際の学校の様子や上の評価をもとにご意見をいただきました。

| | |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>学 習 指 導</p> | <p>○学習規律の徹底や主体的な学び、学び合いについて、学校総体として取り組まれていることが学力の伸びにつながっているものと感じる。 ○落ち着いた状況で授業を受けていることは大変良いことだと思う。 ○中学校区で取組を進める主体的な学びの力を培う「けてぶれ」については、中学校へつなぐ学力の素地として自主学習を継続していきたい。 ○反復学習や家庭学習がさらに活発になれば全体的な学力向上につながると思う。 ○タブレットやICT機器を利用した授業が積極的に行われていることが生徒アンケートからよくわかる。 ○生徒や教師のアンケート項目にあるように、日常的に何をやっているのか、学習に必要なことは何かを自己認識できる取組をやっているのが良いと思う。 ○教師と生徒、生徒と生徒の関係が学習には大きく影響している。ここまでの伸びてきているという実感、事実は人間の関係性の高まりと思う。 ●読書の項目が低い、これは小学校での課題でもあると思うので、今後の参考にさせていただく。 ●家庭学習については最近の中学校の一番の課題。</p> |
| <p>生 徒 指 導</p> | <p>○毎朝椋本小学校前を自転車通学する生徒が、気持ちよく挨拶を返してくれる。中学校内では立礼が浸透し、学校全体に落ち着いた柔らかな雰囲気を感じる。 ○不登校の生徒に対してのケアは大変だと思うが、ぜひ一人でも登校者が増えるように今後も取り組んでほしい。 ○評価の数値も高く、教師も生徒も規律正しい生活を望み、みんなで学校を作ろうとしていることがわかり、素晴らしいことだと思う。 ○楽しい中学校生活を送っていることがアンケートからもわかるし、小学校に来た卒業生のお話を聞いていてもそう感じている。登下校の様子も生徒の皆さんが笑顔で歩いているのがとてもさわやか。 ○すべての項目で高い数値となっているのは学校で生活しやすいと感じている生徒が増えたということだと思う。またそれがあいさつなどにも表れてきている。 ●不登校の課題については送り出している小学校職員として申し訳ない思いが強くある。学校内での解決が難しい面もあると思うが、学校でできることは続けていく必要がある。</p> |
| <p>豊 か な 心</p> | <p>○校長先生をはじめ、西中の先生方、そして生徒たちから時折発せられる「これまで見たことのない景色を見よう」という言葉。まさに学校が一丸となって共通した目標の達成に向けて力を尽くしていると強く感じる。 ○立志式で自分の将来に目を向ける機会を作るとはとても良いことだと思うし大切なことである。ぜひ続けていただきたい。 ○誰かがやり始めれば、みんなもそれに付いて行く。その始めたことが良いこと、良い考えであれば、全体が良くなっていく。その雰囲気が今の西中にはあるように思う。また、それを作っているのは、教師と生徒、生徒と生徒の良い関係性が保たれているからだと考えられる。 ○体育会を見ても感じたが、生徒が自主的に活動していることが「豊かな心」を育成するのに役立っているのだと思う。 ○小学校でも教え合いや下学年への模範指導などを通して自己有用感を高めていきたい。 ○道徳教育は社会教育において重要だと思う。学力向上も大事だが、今後も豊かな心を育む教育を増やしてほしい。 ●子供たちのスマホ、パソコンの使用は保護者の責任とさせるべき。大人のスマホ、ゲーム等の時間が子どもにも影響しているのではないか。</p> |
| <p>そ の 他</p> | <p>○業務を円滑にかつ確実に進めるとともに働き方改革に取り組むことは難しいことだと思うが様々な工夫を加えながら、取組を進めていただきたい。 ○穂波西中校区の核として校区の小学校への問題提起等を来年度もお願いしたい。上級学年（中学校）の姿は下の学校、学年の課題と考える。 ○学習だけでなく、部活動でも大変優秀な成績を収めておられることが、小学生にとっても目標になっている。 ○今年は特にスポーツの面での活躍が素晴らしかった。体力向上はすべてにおいて必要だと思うので今後も力を入れてほしい。 ○中学校へつなぐという意味で、小中一貫教育の取組の推進は大切な骨組みになる。それぞれの部会の取組を評価・改善し、共通理解のもと深化させていかなければならない。 ○これまで小学校の児童に様々な刺激と学びを与えていただきありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。</p> |